特　産　品

伝　統　的　工　芸　品　一　覧

項目		年度	企業数	従業者数	生産額	資料
				人	百万円	
九谷焼	さまざまな色絵装飾（上絵付）に特徴があり、五彩（緑・黄・赤・紫・紺青）が使われ、最後に金や銀が使われることもある。時代や窯によって作風が異なる。	令和3年度	248	812	4,060	石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会
		令和4年度	247	812	4,870	
		令和5年度	267	858	5,090	
山中漆器	ろくろを使った挽物技術が特色で、その手法は数十種に及ぶ。豪華な高蒔絵を施した茶道具、特に棗の制作には定評がある。	令和3年度	260	1,250	5,790	山中漆器連合協同組合
		令和4年度	259	1,250	10,600	
		令和5年度	249	1,200	10,200	
輪島塗	堅牢な塗りと加飾の優美さを特徴とし、日本を代表する漆器として高く評価されている。	令和3年度	413	1,093	2,400	輪島漆器商工業協同組合
		令和4年度	408	1,045	2,400	
		令和5年度	400	965	2,000	
加賀友禅	写実的な草花模様を中心とした絵画調の柄で、多彩で濃い色調と三色ぼかしの表現や友禅五彩（臙脂、藍、黄土、草、古代紫）が使われている。	令和3年度	151	380	665	協同組合加賀染振興協会
		令和4年度	146	360	662	
		令和5年度	139	300	618	
金沢仏壇	加賀蒔絵の伝統を受けた上品な蒔絵の美しさと耐久性が最大の特色で、豪華な仕上がりは美術工芸品の風格を兼ね備えている。	令和3年度	21	77	91	金沢仏壇商工業協同組合
		令和4年度	19	75	93	
		令和5年度	19	74	91	
七尾仏壇	精密な彫刻、中でも竹ヒゴではめ合わせた眼鏡障子は独特で、蒔絵の肉盛りはすべて錆上げであわびの青貝を使用している。	令和3年度	11	21	70	七尾仏壇協同組合
		令和4年度	10	17	60	
		令和5年度	7	12	50	
金沢箔	金の地金を1万分の4ミリ以下の厚さまで均一に広げる技術は、他の追随を許さず、全国生産の99％以上を占めている。	令和3年度	82	616	1,539	石川県箔商工業協同組合
		令和4年度	82	614	1,644	
		令和5年度	81	610	1,853	
金沢漆器	室内調度品、茶道具などの一品制作が特徴である。加賀蒔絵に螺鈿・平文・卵殻などの技法も使われている。	令和3年度	15	44	100	金沢漆器商工業協同組合
		令和4年度	15	45	100	
		令和5年度	15	47	100	
牛首紬（うしくびつむぎ）	太く節のある絹糸で織るため、野趣に富んだ素朴な美しさを持ち、独特の味わいがある。別名「釘抜紬」と呼ばれるほど丈夫である。	令和3年度	4	53	63	石川県牛首紬生産振興協同組合
		令和4年度	4	47	78	
		令和5年度	4	45	119	
加賀繍（かがぬい）	模様染の加飾として始まったため、刺し繍や肉入れ繍などぼかしや立体感のある技法が発達し、豪華で繊細な表現が特色である。	令和3年度	7	27	11	石川県加賀刺繍協同組合
		令和4年度	7	32	11	
		令和5年度	7	34	11	

資料　石川県経営支援課伝統産業振興室